

目指すはごちゃまぜ オールSADO

第1層協議体は、佐渡市全域の課題を抽出し、4つの部会に分かれ検討する体制づくりを行いました。第2層は、それぞれの圏域で確立した「目指す地域像」を掲げ議論を始めています。

目指すはごちゃまぜ オールSADO

1. 佐渡はこんなところ

東京23区の1.4倍！
ひろ～い佐渡

2. 現状と課題

○現状 【H31.3.31現在（ ）は前年同期比】

- 人口 54,656人（-1,203人）
- 65歳以上人口 22,497人（-315人）
- 高齢化率 41.2%（+0.4%）
- 限界行政区 703行政区中248行政区

○課題

- 免許返納後の買い物や通院
- 独居世帯、高齢者のみ世帯の見守り
- 集落運営、地域コミュニティの弱体化
- 世代間のつながりの希薄化

3.体制と目指す地域像

第1層協議体では、佐渡市全域での課題を抽出し、4つの部会（食、見守り、社会参加、移動）に分かれて検討する体制づくりを行いました。事業所によるサービスの創出やネットワークの構築、支え合い活動を応援する仕組みなどをメインに検討を進めています。

第2層協議体は、さわやか福祉財団の協力を得て、体制づくりを行いました。それぞれの圏域で確立した「目指す地域像」を掲げ、SCと共に地域の実情に応じた助け合いの地域づくりに向けて議論を始めています。



4.今後の展望

「孤立を防ぎ、高齢になっても元気に活躍できる地域づくり」

佐渡市内にはサロンや茶の間など240箇所ほどの居場所があります。SCが活動と活動をつなげる橋渡し役を担い、世代間で交流がしやすいよう、まずは“顔見知り”の関係を築き、高齢者だけでなく、子供や障がいのある方など、みんなが役割をもって活躍できる地域づくりを目指します。

できることから少しずつ、地域の思いを形に「佐渡愛」を持って、第1層2層、行政、企業、団体、住民等がごちゃまぜとなった「オール佐渡」での取り組みを推進していきます。

